

山や草むら、やぶ、畑などでの野外活動の際には、

ダニ媒介感染症 に注意!!!



- ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺咬されることによって起こる感染症のことです
- 主なダニ媒介感染症…日本紅斑熱、つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）など

ダニに咬刺されないために



ダニに咬刺された時の対処法



● 肌の露出を減らしましょう

- 長袖・長ズボン・長靴下を着用する
- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻く
- 足を完全に覆う靴を履く（サンダルなどは避ける）

● 虫よけ剤を使いましょう

- ダニに効く成分（ディートやイカリジン）が含まれているものを使う
- 野外活動後は入浴し、刺されていないか確認しましょう

- 咬刺された時は、無理に引き抜かずに医療機関を受診し、適切な処置を受けましょう。
- 咬刺された後は、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に医師
に伝えること

- ① 野外活動の日付
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症
(滋賀県HP)



感染症対策
(東近江保健所HP)

◀ 詳しくは

